

# ストレージモダナイゼーション ～最先端の病理画像 管理革命～

A Storage revolution. New generation storage for Medical  
data (digital pathology).

遠藤 篤<sup>1)</sup>、天野 献士<sup>1)</sup>、田中 秀典<sup>2)</sup>

デル・テクノロジーズ株式会社 UDS 事業本部<sup>1)</sup>、デル・テクノロジーズ株式会社 公  
共営業統括本部<sup>1)</sup>

Atsushi Endoh<sup>1)</sup>, Kenji Amano<sup>1)</sup>, Shuusuke Tanaka<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>Unstructured Data Solutions, Dell Technologies Japan Inc., <sup>2)</sup>Public Sales Division, Dell  
Technologies Japan Inc.

=抄録=

ChatGPT に代表されるように急速に AI 技術が生活の中に溶け込んできている。医療分野においても例外なく AI 利用は加速しており、今後ますます「ヒトと AI との協調」についての議論が続いていくだろう。一方、AI の精度向上においては、学習データが不可欠であり、新鮮でかつデータ量が膨大であればあるほど、データの正確性は増してゆくが、医療機関においては日々各診療部門から医療画像（レントゲン、CT、MRI、病理検査画像など）や映像データ（手術動画、監視カメラ映像など）、遺伝子情報に代表される生体情報が生まれ、膨大なファイルデータの管理は課題の 1 つと言える。

本ランチョンセミナーでは、上記に共通する『格納先とその管理』、『分析基盤との親和性』、『データのマイグレーションを含んだ長期保管』について、グローバル企業の視点から最適な「最先端のストレージ基盤」を紹介する。